

文 教 委 員 会 資 料

陳情の審査

陳情第 1 2 0 号 川崎市立全中学校・特別支援学校への学校司書の配置に関する陳情

令和 7 年 1 0 月 6 日
教 育 委 員 会 事 務 局

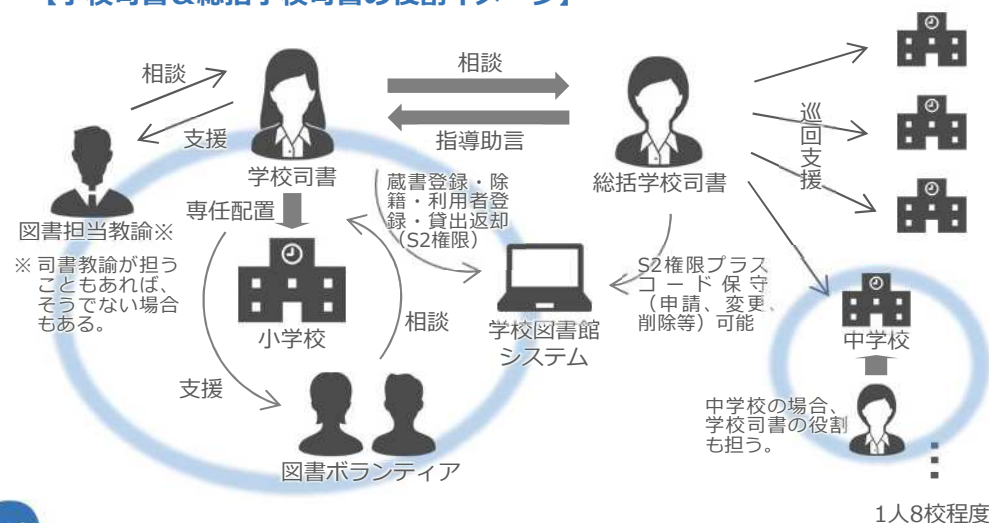
学校司書・総括学校司書の役割及び現状



学校図書館に関わる人の役割及び現状

- 司書教諭（有資格）や図書担当教諭といった教員以外に学校図書館に関わる「学校司書」制度あり。
- **学校司書**は、学校図書館法第6条（努力義務）に定められ、本市では、**市立小学校全校に専任で配置**
- 更に、**巡回型の学校司書**として、**総括学校司書**（本市独自の名称）を**各区3人計21人定数**（欠員3人）
- 図書ボランティア等も含め、様々な人材が子どもの読書活動や調べ学習等を支えている。

【学校司書&総括学校司書の役割イメージ】



学校司書

- 市立小学校全校に専任で配置
- 資格を有しない会計年度任用職員（時給1,363円）
- 週18時間以内、年間450時間以内、150日以内で学校と相談してシフト勤務

役割

図書等の配架や案内等を通じて、学校図書館と児童生徒及び図書担当教諭をつなぐほか、教員と協力し、学校図書館を活用した学習支援も担う。

主な業務

- ① 図書の配架や貸出・返却など学校図書館の運営補助、
- ② 学校図書館を活用した調べ学習など教員の授業支援、
- ③ 図書館だよりの作成等の広報活動 など

【1日の動き 午前勤務（例）】

- 8:30 朝の読書活動
開放に向けた準備など
- 10:15 中休み
- 45 本の貸出・返却、相談対応
- 蔵書点検・整理など
- 11:30 業務終了

【1日の動き 午後勤務（例）】

- 12:30 昼休み
本の貸出・返却、相談対応
- 蔵書点検・整理など
- 14:30 図書委員会の出席
- 15:15 図書担当教諭や図書委員と打合せ
- 16:00 業務終了



総括学校司書

- 巡回型の学校司書（1人8校程度担当）
- 各区3人計21人定数（欠員3人）
- 資格（司書、司書補、司書教諭）保有の会計年度任用職員（月額8万円程度）
- 月～金のうち2日、週13時間勤務

役割

学校図書館や児童生徒の読書活動の状況を把握し、図書担当教諭の支援や学校司書への指導助言を行う。

主な業務

- ① 図書担当教諭による図書の選定等に対する支援など学校図書館の環境整備支援、
- ② 学校司書の権限に加え、図書の削除等が可能な権限を有する（S1権限）など学校図書館システム運用支援 など

【1日の動き（例）】

- 9:00 小学校に訪問
図書担当教諭と打合せ
学校司書への指導助言
- 10:15 中休み
- 45 児童からの相談対応など
- 11:30 中学校に訪問
図書担当教諭との打合せ
- 13:20 昼休み
- 40 本の貸出・返却、相談対応
図書委員活動サポート
- 蔵書点検、本の選書など
- 15:30 業務終了

学校司書・総括学校司書に関するこれまでの取組



配置に関する計画及び予算額

かわさき教育プランに基づく配置

- かわさき教育プラン第3期実施計画（R4～7）において、小学校全校への学校司書配置を明記
- 計画どおり配置を進め、R6年度には配置完了（R7は新小倉小開校による増）

※ 子どもの読書活動の推進に向けた、「読書のまち・かわさき 子ども読書活動推進計画（第4次）」にも学校司書配置について記載

かわさき教育プラン（39頁）

現状	事業内容・目標				
令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度以降
●総括学校司書・及び学校司書配置による学校図書館の充実					
総括学校司書 配置数:21人 学校司書配置数: 56校	総括学校司書 配置数:21人 学校司書配置数: 70校	総括学校司書 配置数:21人 学校司書配置数: 92校	総括学校司書 配置数:21人 学校司書配置数: 全小学校	総括学校司書 配置数:21人 学校司書配置数: 全小学校	→

読書のまち・かわさき 子ども読書活動推進計画（26頁）

学校司書の配置拡充	学校司書配置校では、来館児童数・貸出数の増加などの児童の読書活動の広がりや学校図書館の環境整備の充実、教職員と連携した授業支援の拡充等の取組が進んでいます。児童の読書活動の充実や学習支援の充実に向け、令和4年度には70校、令和5年度には92校、令和6年度には、小学校への全校配置に向けた取組を推進します。
-----------	--

学校司書・総括学校司書に関する予算

- 学校司書に関する年間費用 63,076千円（R7予算額）
- 総括学校司書に関する年間費用 22,954千円（R7予算額）

【参考①】学校司書（小学校専任）の配置校数の推移

H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
7校	14校	21校	28校	35校	42校	56校	70校	92校	114校	115校

【参考②】現行予算額及び全校種に学校司書を配置した場合に想定される費用 ※R7予算額をベースに算出

	R7予算額		校種など	1校当たり	校数など	合計
学校司書（115校）	63,076千円	➡	小学校	約549千円	115校	約63,135千円
総括学校司書（21人）	22,954千円		中学校	約549千円	52校	約28,548千円
			特別支援学校	約549千円	4校	約2,196千円
合計	86,030千円		総括学校司書	—	21人	22,954千円
			合計	—	171校+21人	約116,833千円

学校司書・総括学校司書に関する今後の取組に向けて



今後の取組に向けた視点

小学校と中学校の特徴を踏まえた学校図書館の活用について

【利用状況について】

- 小学校においては、学校司書が専任で配置されているため、主に中休み（30分）の時間に学校図書館を開放
- 中学校においては、中休み時間がないため、昼休み（20分）に図書委員により開放

【学習活動での活用について】

- 学級担任制である小学校においては、おおむねどの学校でも、様々な教科において、学校図書館を積極的に活用
- 教科担任制である中学校においては、国語や総合的な学習の時間等において、学校図書館を活用

学校を取り巻く環境の変化について

- 深刻な教員不足への対応
- GIGAスクールの取組も踏まえた学校図書館とデジタル活用との両立への対応

役割分担を踏まえた配置の最適化について

- 研修実施や総括学校司書の支援等により、小学校の学校司書のスキル向上が図られ、学校図書館の活性化に寄与
- 総括学校司書は1人当たり8校程度を受け持つため、1校当たり月1～2回程度の訪問かつ不定期であり、現状では学校からの求めに応じて訪問



季節やテーマに合わせたブックトークの事例



授業での学校図書館利用、学校司書の授業支援の様子

➤➤➤ こうした視点を含めて本事業の効果や課題を整理し、今後の取組に向けた検討が必要

陳情の要旨に対する本市の考え方



陳情の要旨

- 川崎市立全中学校・特別支援学校に対する学校司書の配置への積極的な検討
- 次期かわさき教育プラン及び第5次子ども読書活動推進計画に学校司書の配置を明記することの検討



本市の考え方

- 平成28年4月1日施行の学校図書館法（昭和28年法律第185号）においては、学校図書館の専門的職務を掌らせるため、国が定める講習を修了した司書教諭を配置しなければならないとされ、また、学校図書館の運営の改善及び向上等に資するため学校司書を配置するよう努めなければならないとされている。
- 学校図書館は、児童生徒の主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善にも効果的に生かすことが期待され、各教科等の習得、活用、探究の過程の中で、図書館等の豊富な資料や情報を生かしていくことが重要であり、学校司書は、教員と連携し、学習課題に対応した図書を充実させることや、図書館等を利用した効率的・効果的な情報収集の方法について積極的に発信することで、読書活動の推進に資する役割を担っている。
- 本市では、司書教諭を全校に配置するとともに、学校司書についても、かわさき教育プラン及び子ども読書活動推進計画に位置付けながら、その配置に取り組んできており、現在は、小学校全校に1校専任の学校司書を配置し、中学校及び特別支援学校は21人の総括学校司書の巡回による対応としている。

以上を踏まえ、中学校及び特別支援学校については、これまでの取組を振り返り、検証するとともに、司書教諭、学校司書及び総括学校司書の役割分担等を含め、より効率的・効果的な活用に向けて検討を進め、また、学校司書の配置は予算及び職員配置を伴う事業であることから、関係局と協議しながら、次期かわさき教育プランの策定作業の中で記載の可否等について調整していきたい。